



日本赤十字社

Onoda Red Cross

小野田赤十字病院広報誌

令和2年度

第2号

Vol.274



新規採用職員研修（令和2年4月1日撮影）

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

病院理念

私たちは、気配りの行き届いた医療を実践し、
みなさまの健康と尊厳をお守りします。

基本方針

- (1) 患者さんならびに職員の生きがいを尊重し、権利を擁護します。
- (2) 患者さんのプライバシー保護に努めます。
- (3) 高齢・認知症・難病等の患者さんに配慮致します。
- (4) 医療社会事業を通じて、みなさまの健康づくりを支援します。
- (5) 「健診・救急・高齢者医療」を三本柱とし、地域の「保健・医療・福祉機関」との連携を推進します。
- (6) 医療の質の向上と安全管理に努め、全人的医療をめざします。
- (7) 医療記録を適正に管理し、規定にしたがって開示致します。

<http://www.onoda-redcross-hosp.jp>

令和2年6月2日(火)より

高齢者内科を開設いたします。

診療日：毎週火曜日
受付時間：8:30~11:30

「高齢者内科」外来新設とその背景について

小野田赤十字病院 院長 清水 良一

【高齢者内科外来を新設するに至った背景 ～当院の病床機能から見えるもの～】

小野田赤十字病院では、令和2年3月から1病棟40床を、急性期病棟から地域包括ケア病棟に転換し、各種急性期疾患の治療が終了した患者さんの回復期治療を担う病床として運用を始めました。地域の病・病連携、病・診連携のもと、当院の地域連携室が窓口となって、活動を始めたところです。もちろん、個別に患者さんおよびそのご家族から直接、地域連携室にご相談いただく場合もあります。令和元年6月に開設した小野田赤十字訪問看護ステーションとの連携を図り、準備期間も含めた過去9か月間の在宅復帰率は70%以上を維持しており、地域の期待に応えられるよう努めて参りました。

地域包括ケア病棟への入院の対象となった患者さんの背景をみると、ご高齢の方が多くは申すまでもありませんが、過去に、消化器系のがん、肺がん、乳がん等のがん治療の既往がある方や、慢性の持病を有する方など、一般の方よりも健康が損なわれたあと、回復するまでに相対的に時間のかかる患者さんが多く見受けられました。

一方、2病棟（40床）および3病棟（40床）では、計80床を慢性期病棟として稼働し、以前と同様、主に次の①～⑤に掲げた病態の患者さんの治療を担っています。

- ① 神経・筋の難病疾患（筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、筋ジストロフィー等）、
- ② 脳血管障害に基づく骨格筋系の機能障害（脳出血や脳梗塞の後遺障害）、
- ③ 老化に伴う脳神経領域の疾患による自立機能障害（認知症、摂食機能障害など）
- ④ 栄養管理に高カロリー輸液が欠かせなくなった病態（短腸症候群、消化器がんなど）
- ⑤ 酸素吸入が欠かせなくなった病態（①と②の病態の一部の方、慢性閉塞性肺疾患など、）

他に、令和2年4月に開設した介護医療院（12床）、と以前から稼働中の老健あんじゅ（100床）では、介護保険制度のもとで、前者では、調理、洗濯、掃除、就寝時体位変換、呼吸維持、摂食、排せつ、入浴、精神活動等に介助が要る方の日常生活の現状を維持し、さらに、老健あんじゅではリハビリを通して、在宅復帰支援にも積極的に取り組み、中間施設としての役割を果たしているところです。なお、老健では末期がんの方の緩和ケアも受け付けております。

【高齢者内科外来で目指すもの】

院長として小野田赤十字病院に着任して3年が経過し、前述のごとく、超高齢化社会を迎える中で、当院の果たすべき地域での役割が明確となりました。医師となって40年、さらに、日本消化器外科学会での国内第1号の「消化器外科専門医」に認定されて30年が経過し、また、「日本消化器外科学会指導医」の資格を得て丸25年が経過したことで、一つの節目を迎えたところです。折しも、日本消化器外科学会からは、規定により令和2年6月1日付けで、日本消化器外科学会の「終身指導医」としての認定を

受けたところであり、今日までに培ってきた「多くの基礎疾患を有する患者さんの術前・術後管理」の経験、および「がん治療認定医機構の認定医」としての腫瘍学の知識も活用して、高齢者医療に貢献することがこれからの最大の任務との考えに至りました。

幸い、過去2年余に亘り、地域の公民館で延べ16回の健康講座に出務し、この地域の多くのご高齢の方々が、ヒトが生きている仕組みや、各種疾患の詳しい病態を学び・悟ることに大きな生きがいを感じておられることを肌で感じることができました。

また、聴講者ご自身のみならず、ご家族の健康管理にも強い関心を持っておられることをうかがい知ることができ、少しでも健康に不安を感じたときに、気軽に受診できる「総合外来的な診療」を提供する場を作る決心を致しました。その結果、現在、標榜することが許されている診療科として「高齢者内科」を掲げ、令和2年6月2日（火）から診療（午前中）を開始する運びとなりました。もちろん、院長の清水が「高齢者内科」の診療を担当致します。今後、患者さんのご要望があれば、週2枠まで増枠することも考えています。

要は、体調に少しでも異変を感じたときに、気軽にご利用いただければと願っております。



5月7日（木）にYMS株式会社 代表取締役 小林 昭康 様より、マスク500枚を寄付していただきました。

貴重なご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

ご寄付いただきましたマスクは大切に使用させていただきます。

これからも地域の皆様に安心安全な医療を提供できるように感染管理を徹底してまいります。

面会禁止

4/20（月）から面会を禁止させていただいています。
ご理解とご協力をお願い致します。

洗濯物の交換が必要なご家族の方は、

1 病棟 → 金曜日

2 病棟 → 火曜日、金曜日

3 病棟 → 月曜日、木曜日

の下記時間での受渡しを、お願いいたします。なお、新しい着替えやタオルなどを入れられた袋には、入院患者さんの名前（フルネーム）と病棟を明記したメモなどを、袋の外から見てわかるように表示してください。

平日の 15時～17時・・・総合受付

17時～19時・・・夜間出入口 へお越してください。

土日・休日の洗濯物の交換は行いません。

※ 病院から面会を、お願いしたご家族は、上記の限りではありません。

★ 発熱のないことが必須の条件で、マスク着用をお願いします。

小野田赤十字病院



新規採用職員の紹介

4月1日(水)に新規採用職員研修を行いました。
今回は、新規採用職員と令和元年度中途採用職員に
① この仕事(職種)を選んだ理由 ② 今後の抱負
を聞いてみました!

医療社会事業部 富士野 有沙

- ① 大学での社会福祉学の学びや実習から、多くの人の関わり、役に立つ仕事があったため。
- ② たくさんの知識や経験を身につけられるよう、精一杯頑張ります。

医事課 池田 美奈子

- ① 経験したことを活かせると思ったから。(前職での経験) 以前から興味があったから。
- ② 知識と経験を積み、より多くの業務をこなせるように努める。

栄養課 山下 はる香

- ① 高校の時から栄養学に興味があったため。
- ② 利用者様が笑顔で食べられる食事の提供。

栄養課 桐山 香里

- ① これまでの事務の経験を活かす事ができるのではと思ったので。
- ② 早く仕事を覚えてミスをしないように頑張りたいと思います。

栄養課 石川 真也

- ① 若い時にやってみてみたいと思ったので。
- ② 1日でも早く仕事を覚えて職場の人達の役にたてるよう努力したいと思います。

リハビリテーション科 戸部田 崇

- ① 元々筋肉やマッサージに興味があり、宇部に専門学校が新設されたのをきっかけにこの道に進むこととなりました。
- ② 一人でも多くの方の生活が快適になるよう、皆様の身体機能改善に努めていきたいと思っています。

リハビリテーション科 藤野 優紀

- ① 少しでも多くの方の役に立つ仕事をしたかった為。
- ② 知識、技術を身につけ何事にも誠実に向き合っていきます。

看護師 和泉 和美

- ① 小さい頃からの夢
- ② 定年まで元気に努めあげる事。

看護助手 江嶋 理香

- ① 看護助手の求人を見つけた際、私も少しでも誰かの役に立てればと思い志望しました。
- ② 常に患者さんのことを1番に考え、丁寧な介助を心がけたいと思っています。また、仕事を円滑に進めるため、優先順位を考えながら迅速に行動できるよう一生懸命頑張っていきたいと思っています。

医事課 町田 菜奈美

- ① 自分の得意分野(パソコン操作、接客)を活かして女性として長く続けられる仕事がしたいと思ったからです。また、人を助ける医療業界に携わり、社会の役に立ちたいと考えました。
- ② 受付業務をスムーズにこなせるようになり、現在習得中の会計業務を早く覚えたいです。日々学んだことを積み重ねて知識を増やし、自主学習も積極的にやっています。

老健相談指導課 野原 陽子

- ① 今までは在宅で頑張って生活されている方を対象に支援の提案等をさせて頂いていましたが、施設ではどのように入所者様とケアマネジャーが接し、交流や支援を行っていくのかを学びたく施設ケアマネを選びました。
- ② 入所されても、いつかまた自宅に戻りたいと思って頑張っておられる方への提案をさせて頂いたり、入所生活の中でも、ご自分の役割や生きがいを見つけ、日々の生活を送っていただけるよう支援し、寄り添い、信頼されるケアマネジャーになりたいと思います。

看護師 田中 亜矢子

- ① 患者さんお一人お一人に対して、その方とご家族のためにしっかりと時間をかけて必要なケアをしたいと思ったからです。
- ② これからは在宅で療養される方が増えてくると思っています。「住み慣れた家に帰りたい、帰らせたい」と望まれる患者さんご家族が安心して在宅復帰できるよう、そして「訪問看護さんに来てもらえるから安心、来てもらえて本当に良かった」と思っていただけよう笑顔で頑張りたいと思います。

看護師 永田 径子

- ① 親族に勧められたため、資格を取得した。働き続けて、辛い事、考えさせられる事も多々あったが、患者さんの回復・退院に携われる事にやりがいを感じた。また患者さんの笑顔や何気ない一言に救われる事が続けられている事だと思います。
- ② 患者さんの気持ちに寄り添って看護をしていきたい。

看護師 本田 恵子

- ① どんなことがあっても、1つだけでいいから生きていく力になるものが欲しいと思い、看護師になりました。
- ② 心と身体に寄り添える看護ができるよう頑張っていきたいです。

6月



外来診療担当医表

※都合で交代・休診することがあります。ご了承ください。
 ※午後診療（内科・外科）は予約診療および急患対応といたします。

診療等に関する問合せ TEL : 0836-88-0221
 FAX: 0836-88-0405 (平日8:30~17:00)、0836-88-2733(夜間・休日)

全診療科 受付時間 8:30~11:30 とさせていただきます。
 (※一部例外もございますので、ご不明の点はお電話にてお問合せください。)

診療科(受付時間)		曜日	月	火	水	木	金
内科	1診		藤井 翔平	岡田 治彦	島袋 明子	西川 潤	第1,3,5(金) 松原 淳 第2,4(金) 岡田 治彦
	2診		山中 菜々美 【脳神経内科】	清水 良一 【高齢者内科】	和田 一成 第1水曜日のみ ※予約制	野垣 宏 【脳神経内科】	野垣 宏 【脳神経内科】
	3診		岡田 治彦		徳永 良洋 8:30~15:30	石川 真帆	
外科			水田 英司	佐藤 智充	中尾 光宏	為佐 路子	清水 良一
肛門科			月曜~金曜 清水 良一 (要電話予約)			お気軽に受診してください。	
神経科				關 友恵			
眼科				萩田 勝彦			萩田 勝彦
整形外科							富永 俊克
脳神経内科			山中 菜々美			野垣 宏	野垣 宏
皮膚科					下村 尚子		須田 文
女性スタッフによる 乳がん検診					為佐 路子 ※予約制 (女性放射線技師による撮影)		
※女性医師・技師が不在の場合もありますので、事前のご予約をお願いいたします。							

ANA グループ様より、 幸せの花「スズラン」が届きました。

5月27日(水)、ANAグループ(全日空)様から患者さんへ、北海道千歳市近郊で栽培された「スズランの花」「爽やかなスズランの香りを楽しめるしおり」が届けられました。
 スズランの花言葉には「幸せ」「幸福の再来」などがあり、患者さんの一日も早い回復を願って昭和31年より毎年届けられています。
 昨年に引き続き、今年も当院にスズランの鉢植え3鉢、切り花40本、しおり250枚を届けて頂きました。

また、暖かい応援メッセージと可愛いイラストが描かれたメッセージボードも届けていただきました。
 総合受付横と、健診室前に飾っていますので、来院された際には是非ご覧ください。





今月の料理



そら豆入りポテトサラダ

◆ 材料 ◆ 2人分程度

素 材	分 量
空豆	8本
じゃがいも	2個
ハム	2枚
マヨネーズ	大さじ2
マスタード	大さじ1
塩こしょう	少々



【 作り方 】

- ① 空豆はさやから実を取り出す。じゃがいもは1口大に切り水にさらす。
ハムは1cm角に切る。
- ② 鍋に湯をわかし、空豆をゆで、薄皮をむく。
- ③ じゃがいもをゆで、熱いうちにつぶす。
- ④ ③に A の調味料、空豆、ハムを加えて混ぜる。

一口メモ



空豆にはビタミン B 群が豊富に含まれています。ビタミン B1は、糖を分解しエネルギーに変えるのに不可欠な成分で、疲労回復作用もあります。ビタミン B2は血行を促進してくれます。またビタミン C も多く含まれており、美肌効果や風邪予防にも効果が期待できます。

納涼祭中止のお知らせ



毎年8月に開催している納涼祭についてですが、新型コロナウイルス感染症対策に鑑み、今年度の開催を中止といたします。納涼祭を楽しみにしていた皆様には多大なご迷惑をおかけ致します事を心より深くお詫び申し上げます。

6月1日(月)より、健康診断事業を再開いたします。

この度、6月1日(月)より健康診断事業を再開するにあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、以下の対応を取らせていただきますので、ご協力をお願いします。

- ◎ 健康診断受診時は、必ずマスクの着用をお願いします。
- ◎ 健康診断当日は、健診会場にお越しになる前に必ずご自宅で体温の測定をし、事前に配布いたしますチェックリストに記入の上、忘れずにお持ちください。



ORC (オー・アール・シー) 令和2年度第2号

令和2年 6月 1日 発行

発行所 山陽小野田市大字小野田3700
小野田赤十字病院
(TEL 0836-88-0221)

発行人 院長 清水 良一